

ロジンを原料とした製品を安定供給するために、国内外できめ細かな品質管理を行っています。

ロジンはさまざまな機能を発揮する有用な材料ですが、植物由来の天然樹脂であるため、産地や天候に品質が影響されるという難しさも持っています。ロジンとともに130年以上の歴史を歩んできた荒川化学は、これまでに培われた技術、ノウハウを活かして、ロジン製品の安定供給に取り組んでいます。



ロジンの原料である生松脂は世界中で採取されていますが、最も多く産出している国は中国です。荒川化学では、生松脂から製造されたロジンを中国から輸入しています。

当社では、調達部門が、中国の生松脂採取業者やロジンメーカーを直接訪問し、品質査察や技術指導を行うとともに、生産状況などの正確な情報収集を進めて、安定した調達に取り組んでいます。

さらに、2004年には、中国梧州市に「広西荒川化

学」を設立、生松脂の精製からロジン製品までを一貫生産できる拠点をつくり、ロジンおよびロジン製品（重合ロジン、不均化ロジンなど）の安定的な供給体制を確保しました。

このように、荒川化学では、中国内の荒川化学グループ企業はもちろんのこと、現地のロジン関係業者とも緊密な連携をとり、ロジン製品の品質管理を向上させるとともに、安定供給を図っています。

フィードバック、技術指導

ロジンの品質管理の流れ



品質評価

荒川化学ではロジンの化学反応を利用して各種製品を製造していますが、その反応性はロジン成分の比率などによって影響を受けます。ロジンの成分比率は産地や製造時期などによって異なるため、入荷前にロジンの品質評価を行い、どの製品の原料に適しているかを判断する事も品質管理課の重要な仕事です。

評価項目は色調、酸価、軟化点などのほか、溶解性、不均化活性、耐熱性、灰分など。異常が見つければ、資材部を通じてロジン製造工場にフィードバック。改善を依頼することで、相互にレベルアップしています。

VOICE

原料が天然由来のためか、バラエティーに富んだロジンが入荷されます。全てのロジンが、当社の要求性能を完璧に満たしているわけではないため、検査の結果によって使い分けが必要になります。長距離移動のためドラム缶に支障が出ているものもあり、使用時に不具合が見つかることもあります。さまざまな条件を勘案しつつ現場と協力して上手に使いこなし、常に安定した製品ができるように工夫しています。



大阪工場
村田 美香



分析風景

日本

荒川化学

選定

調達

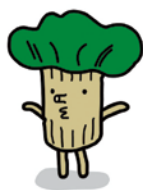
品質評価

ロジン
製品製造

お客様

選定

広西荒川化学のほか、他の生産業者からも調達しています。調達先の選定は、事前にサンプルを入手して数回の品質確認を行い、品質良好な工場のみを選定。また、現地工場を訪れ、品質査察や品質向上を目的とした指導管理も行っています。



調達

商社経由で選定工場からの売り込みを受け、価格面や品質面で優位な契約を行います。万一、品質面で問題があった場合は、原則として、原因把握や対策実施を確認するまでは次回以降の発注はしません。

VOICE

ロジンの生産量は天候に左右され、価格も短期間で大きく動くことがあります。ロジン関連製品の安定供給のためには、数量確保が最優先。しかし、海外から入荷するまで時間がかかるうえ、為替問題もあります。さらに高品質のものを安く購入する必要もあり、発注担当者としてはそのバランスと判断を的確に行うことが求められます。



資材部
岡田 和孝

ロジン製品製造

ロジンを主原料としたさまざまな製品を製造していますが、製品によって活用するロジンの特性が異なります。従って、品質評価の結果で使い分けるほか、製造条件を調整することで、安定した製品を製造しています。

しかし、時には、製品を製造してみないと分からないような不具合もあり、その場合は原因を徹底的に究明します。ロジンに原因があれば、資材部を通じてロジン工場へ改善を申し入れるほか、新たな評価項目として受入検査を実施し、再発防止を行います。

ロジン製品を安定的に供給し、安心して使っていただけるよう、ロジン工場も含めて品質管理を充実させています。